

令和5年度 学校評価書(中間評価)					1段： R5 中間 2段： R4 最終 3段： (R4 中間)		輪島市立東陽中学校					
重点 目標	外部アンケート				自 己 評 価			達成度状況の考察(○)と改善方法(●)				
	保護者アンケート	A+B	生徒アンケート	A+B	評価指標	達成度評価規準	R4 最終			R5 中間		
1	確かな学力の向上	学校は、学力向上に努力している。	90 86 (86)	授業の課題を意識し、問題や活動に進んで取り組んでいる。	100 86 (75)	【努力指標】 「魅力ある授業」を目指して授業改善に努め、生徒が「主体的・対話的・深い学び」を実行できている。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	A	A	○課題意識を持って問題や活動に進んで取り組む生徒が多く、板書やプレゼン、ワークシート等を使って考える視点や活動の手順を示すことで、思考し、授業のねらい達成に近づくことができた。一方、問題や課題を自力で解いていく力が不足しており、自信を持って表現（話す、書く）できている生徒の割合が少ないことが課題である。 ●今後は、「授業のゴールの姿（生徒）」を詳細にイメージし、深く思考させるために「問い返し」を行っていく。また、「単元のゴールの姿（生徒）」を共有したり、振り返りと次時の導入を工夫したりして、1時間1時間のつながりや成長・前進が実感できるよう取り組んでいく。		
				授業のまとめを自力で書こうとしている。	100 100 (90)							
				先生や友達との発問や、話し合う活動を通して、自分の考えが深まっている。	95 91 (95)							
				話す、書くなどの表現力が身に付いてきている。	90 95 (95)							
				授業の振り返り活動は学びの確認や学習意欲につながっている。	95 95 (80)							
		子どもには、家庭学習の習慣がある。	53 60 (62)	毎日の課題や宿題を提出している。	90 76 (95)	【努力指標】 各学年の目標家庭学習時間を達成できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B			
				毎日、学年目標の家庭学習に取り組んでいる。学年目標の家庭学習に取り組んでいる。(1年60分 2年70分 3年90分)	74 81 (85)							
子どもは、睡眠を7時間30分とっている。	84 67 (80)	睡眠を7時間30分とっている。	74 76 (85)	【努力指標】 家庭と協力・連携して、より良い生活習慣が身につくように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	○保健給食委員会による「睡眠時間＋5分」の取組や、1年生学活での睡眠についての学習を行ったりと、声掛けや啓発を行っているが、改善できていない。原因はメディア（ゲーム・インターネット）使用をコントロールする力の不足であると考えられる。 ●各学年にC回答が一人ずついるので、個別に対応していく。				
子どもは、朝食を食べている。	100 95 (100)	朝食を食べている。	100 95 (95)									
子どもは、決まりを守って生活している。	100 95 (91)	*	*									
保護者として、SNS・ゲーム・インターネットの家庭内のルールを作っている。	69 67 (62)	ゲーム・インターネットは宿題等とのバランスを考えて使用している。	42 57 (50)			C	C					
保護者として、輪島市ルール（9時以降は使用しない）や家庭内ルールを守らせている。	42 38 (48)											
2	主体的に行動できる生徒の育成	子どもは、喜んで学校に行っている。	100 95 (95)	学校は楽しい。	95 95 (90)	【努力指標】 部活動や生徒会・委員会活動や各種行事などを通して、充実した学校生活が出来るように指導できた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B	○「学校は楽しい」と肯定的回答が多い。 ●今後も「共感的な人間関係の育成」と「自己存在感の享受」を生徒指導の柱とし、学級で、学校全体で取り組んでいく。 ○委員会では日々の活動はもちろん、発表の機会を儲け、工夫を凝らした発表ができた。生徒会は「あいさつ」、保健給食は「心の健康－気分と考え方について－」、図書環境は「読み聞かせ（平和学習）」「おすすめポップ紹介」を行った。 ●今後は、「自己決定の場の提供」を重点とし、より自治的な取組を推進し、協働体験や成功体験が充実するよう、各委員会の活動内容を工夫していく。		
		学校は、行事が充実するように努力している。	95 95 (91)	部活動で自分は鍛えられている。	90 100 (90)							
				委員会活動や学級活動で、企画・運営することは楽しい。	79 86 (90)							
		学校は、子どもの表現の場を大切にしている。	100 95 (100)	集会等で自分の考えを伝えている。	63 76 (45)							
				物事を最後までやりとげてうれしかったことがある。	100 91 (90)							
				難しいことにも、失敗を恐れなくて挑戦している。	79 76 (65)							
		子どもは、自分から挨拶ができる。	95 95 (95)	自分から挨拶ができる。	95 100 (95)	【努力指標】 挨拶やマナーなど、中学生らしくその場に応じた言動ができるよう日常的に指導を進めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	A	A		○生徒会執行部による「あいさつ」についての集会を開催し、「相手意識のある」あいさつについてお互いの考えを共有し、毎週火曜日・木曜日に「あいさつ・返事カエルDAY」として、よりよいあいさつの実践に努めている。	
		子どもは、家の手伝いをしている。	69 60 (62)	家で手伝いをしている。	63 52 (60)			B	C		○学年が上がるにつれて、AB回答率が低くなっている。輪島市主催の「親子の約束」に取り組み、生徒は保護者から「感謝」などの言葉を直接もらう事ができた。家庭内でも自己有用感を感じることができた。 ●学校独自の、「親子の約束」の取組を継続していく。	
		子どもは、将来の夢や希望をもっている。	48 76 (76)	将来の夢や希望を持っている。	53 62 (70)			B	D		○1・2年生においてCD回答率が高い。 ●キャリア教育において、さまざま職種の人や地域人材との交流をすすめ、将来の夢について考える機会を多く設定する。7月に2年生は「職場体験」を行い、9月には全校で「ドリームマップ」に取り組む計画である。	
		学校は、生徒理解に努め、適切に対応している。	95 100 (100)	自分にはよいところがある。	74 76 (55)	【努力指標】 教育相談活動を充実させるなど、生徒の悩みや相談事を親身に受け止め、共感的人間関係づくりと自己有用感が高まるように生徒指導に努めることができた。	◆生徒アンケート ◆保護者アンケート A：90％以上 B：75％以上 C：60％以上 D：60％未満	B	B		○2項目に対する回答がほぼ同じである。 ●学級指導でも「共感的な人間関係の育成」と「自己存在感の享受」を柱とし、「いいところさがし」などの活動を行うなど、学級活動の一層の充実を図っていく。また、教職員も日頃から発達支持的な生徒指導を心掛け、日々のコミュニケーションや接し方を改善していく。	
		保護者として、良いことについては褒めることを大切にしている。	100 91 (100)	褒められたり認められたりする時がある。	79 76 (85)							
		保護者として、悪いことについては、叱ることを大切にしている。	95 86 (95)									
		3	保護者・地域との絆	学校は、生徒のことで相談しやすい雰囲気である。	100 100 (100)	*		【努力指標】 学校によりや各種お便り等を充実させ、学校から積極的に情報発信することができた。	◆保護者アンケート A：90％以上 B：85％以上 C：80％以上 D：80％未満		A	A
学校は、通信等で方針や生徒の様子をわかりやすく知らせている。	100 100 (100)			*								
保護者として、学校からの通信に目を通している。	100 100 (100)			*								
保護者として、行事があるときは都合をつけて参加しようとしている。	100 95 (100)			*								
*				東陽中学校の生徒であることに誇りを感じる。	84 91 (90)	【努力指標】 生徒に対し、ふるさとや地域に目を向けさせ郷土愛を深めることができた。	◆生徒アンケート A：90％以上 B：85％以上 C：80％以上 D：80％未満	B	C	○4年ぶりに「ふるさと5千人の祭典」に参加し、生徒たちは地域の方々から支えられていることを実感できた。また、各種PTA行事や直近では体育祭を通じて、保護者への感謝も感じている。 ●文化祭での各学年の総合発表で、その気持ちが表現できるテーマや内容になるよう指導し、今後もその気持ちを持ち続けることができるよう工夫する。		
*				地域の人たちは、やさしく、深い絆を感じる。	95 100 (84)							
*				将来地元に貢献したいと思う。	63 62 (30)							